

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第7区分

【発行日】平成28年12月15日(2016.12.15)

【公開番号】特開2015-171940(P2015-171940A)

【公開日】平成27年10月1日(2015.10.1)

【年通号数】公開・登録公報2015-061

【出願番号】特願2014-49241(P2014-49241)

【国際特許分類】

B 6 6 B	1/14	(2006.01)
B 6 6 B	3/00	(2006.01)
B 6 6 B	13/14	(2006.01)
G 1 0 L	15/00	(2013.01)
G 1 0 L	15/18	(2013.01)

【F I】

B 6 6 B	1/14	L
B 6 6 B	3/00	F
B 6 6 B	3/00	K
B 6 6 B	13/14	N
G 1 0 L	15/00	2 0 0 J
G 1 0 L	15/18	3 0 0 H

【手続補正書】

【提出日】平成28年10月27日(2016.10.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0074

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0074】

ステップS605では、演算手段8に認識結果「イ」が入力される。図9に示すように、「イ」に対応する遷移T209のフラグFL2[9]は1である。つまり、遷移T209は可能な遷移である。このため、1拍単位有効判定手段18は、状態の遷移を行い、現在の状態を状態6に更新する。ステップS605で遷移が行われたため、ステップS606の次はステップS607に進む。現在の状態である状態6は受理状態であるため、ステップS607の次はステップS608に進む。状態6から可能な遷移はないため、ステップS608の次はステップS612に進む。

【手続補正2】

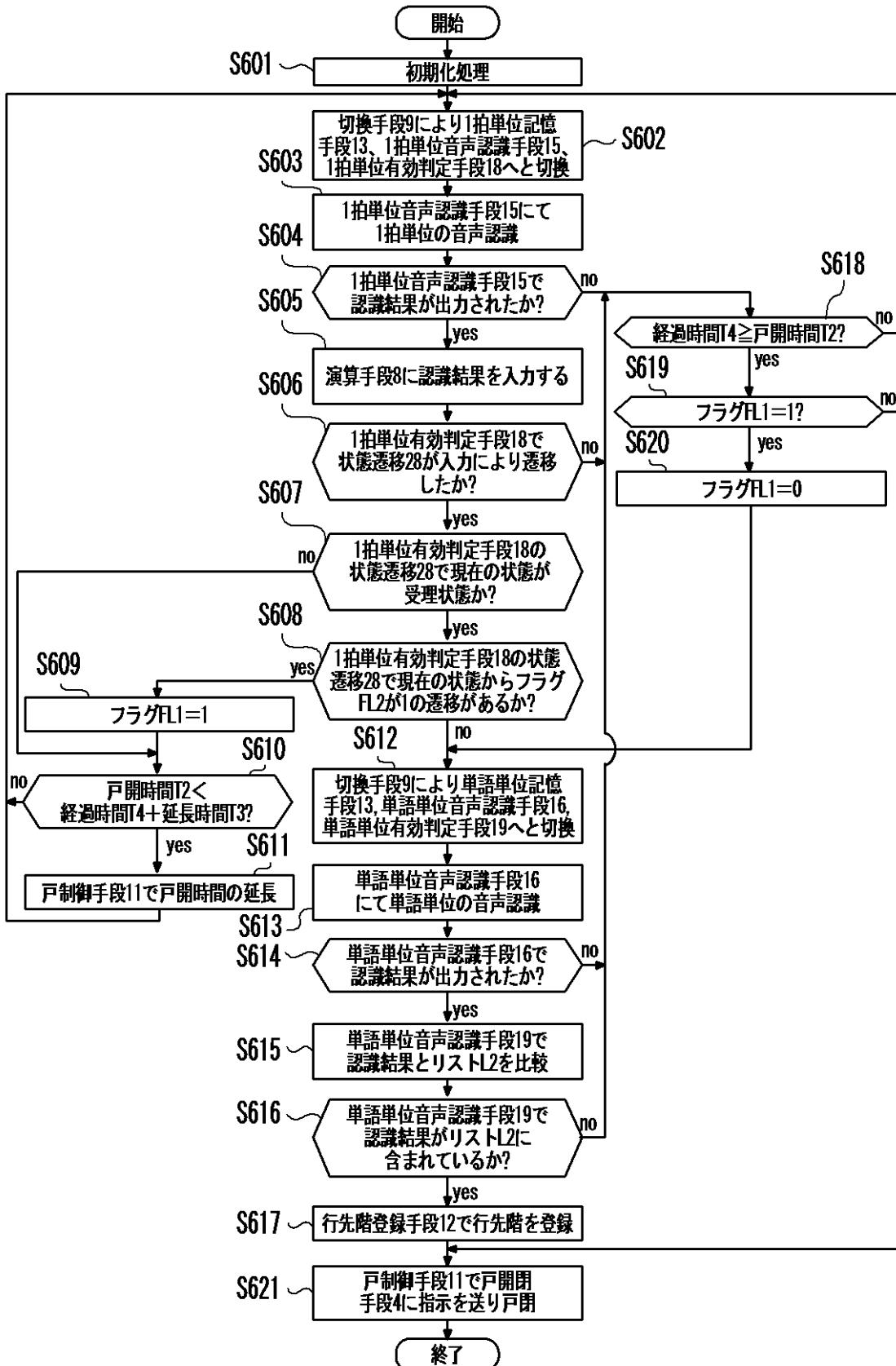
【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図14

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図14】



【手続補正3】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図17

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図17】

